

原稿見本

- ◆ 原稿は上下247mm, 左右172mmの中に納める.
- ◆ 表題は3行目から始める.

題名にはゴシックを用い, 主題1行は27文字以内,
文字の大きさは16ポイント程度とする.*
—副題は行を改めて14ポイント程度で記す.—

可視化 太郎[○](可視化情報大学), 情報 花子(可視化情報(株))

An Example of the Manuscript for the Visualization Symposium Japan —Subtitle—

Taro KASHIKA and Hanako JOHO

ABSTRACT

For the convenience of the authors, an example of the manuscript for the Visualization symposium Japan is shown. *****

***** 《論文の場合, 150語程度の英文 ABSTRACT 及び Key words を入れる. 文字の大きさは10ポイント程度とし, 字体は Century が望ましい. 行間は1行分(シングルスペース)とする.》***

Keywords: Visualization, Digital image processing, *****, **** *, *****, **** *

1. 緒論

これは可視化情報シンポジウム原稿第1ページの体裁見本となっている. 投稿の際, 著者は「原稿投稿要領」を熟読の上, できるだけこのような体裁に原稿を仕上げる.

2. 文字及び改行

2.1 文字の大きさと改行

著者名は11ポイント程度, 1行に36字以内とし, これを越える場合は行を改める. 著者名欄は右寄せにする. 本文は9ポイント程度, 25字×50行, 2段組とし, 段間は10mm空ける.

章の間は2行空け, その中央に章名を10ポイント程度で記す. 節の間は行を空けない.

2.2 字体

原稿には次に示す字体又はこれらに準ずる字体¹⁾を用いるのが望ましい. 題名, 章及び節名はゴシック, 本文は明朝. 英文題名, 著者名は Times New Roman, 本文中の英文は Century.

3. 図表

本文中の図表の表記にはゴシックの字体を用いる. 図表の見本を Fig. 1 と Table 1 に示す. キャプションは表の場合は上部に, 図の場合は下部に記す.

Table 1 Sample of Table

--



Fig. 1 Sample of Figure Arrangement

参考文献

- 1) 可視化太郎, 情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol.100, No.1000 (1998) pp.11-12.
- 2) Kashika, T., Hanako, J.: An Example of the Manuscript for VSJ Journal, VSJ Journal, Vol.10, No.5 (1999) pp.10-15.
- 3) Kashika, T.: Visualization Technique, VSJ Press, Tokyo (1997) pp.1111-1125.

◆ 参考文献欄の文字は8ポイント程度.